鹿ノ台川柳教室 五月十六日 月

時計 運記) 幡井 英二選

日をのんびり歩く古時計 よう子

乃 り 子 二

融通の利かぬ頑固な古時計

柱時計たまにネジかけ声かける

勝利

ウ アラブ ル時計も指にする時代

待合わす二人見守る花時計

正清

貫

身分の差あれど公平時刻む

登美

いつの世も時が人間支配する

哲子

からくり時計旅のひととき夢心地

百合子

アキラ

老害と言われぬうちに決意する 話せない秘密知ってるロレックス

千楽

寺の鐘聴く人もなく時を告げ

ミノル

分の遅れならアナ 口 グなら許す

ばんゆう

良

愛 修正の電波が欲 一生を医師の時計が締めくくる Ĺ い古時 計

義雄

軸六時半目覚まし気取り吠える犬

英二

自由吟 兵選) 小金澤 貫一 選

臆病の手に持つ嘘をじっと見る

常温で育てた子だが親思い

年棒8億どう使いますゴー ンさん

懐 \mathcal{O} 深 1 夕 日 に打ち明け る

ひと休

み増えたこの頃老

7

の道

登

美

3世代暮らし ス トレスて んこもり

核 \mathcal{O} 無 1 世界を目ざす核 の国

生きてきた心のひだが顔造る

夏立ちてジャスミン香り迷い出す

万花会に故人忘れて花 にこ 酔 1

断捨離で目的 地見え小 休 止.

度 涙枯 Þ \mathcal{O} れやが 余震が発生胃が痛む ておな かが 空 7 てくる

祖父真似る力み哀しい三代目

思案顔さあそれやがなとうそぶく

遠近法昭和の美女の皺隠す

百合子

良

アキラ

良

アキラ

勝 利

哲 子

百合子

登 美

義 雄 乃り子

英 よう子

清

正

利

勝

愛 AIが心を持てば惚れるかも

ば んゆう

餺 実 の子も親 \mathcal{O} 介護は 引ける 腰

貫

自由吟 **弁選)**

野々村 アキラ選

| この時計あの日あの時忘れない | 実の子も親の介護は引ける腰 |
|----------------|---------------|
| よう フ | 貫 |
| 十 | |

横 綱 \mathcal{O} 5 \ \ 相撲を見た \ \ \mathfrak{t} \mathcal{O} 千 楽

核 \mathcal{O} 無 1 世界を目ざす核 \mathcal{O} 玉 勝 利

老眼鏡:

外

し夫の

八

分見る

乃

り子

安請け合いしてはス トレス が 溜まる 貫

常温で育てた子だが親思 1 良

万花会に 故人忘れ て花 に 酔 1

登

美

利

遠近法昭 夏立ちてジ 和 ヤ \mathcal{O} スミン 美女 \mathcal{O} 香り迷 麬 隠 す 1 出す 百合子 勝

祖 父真似る力み哀し い三代 目

英

涙枯 ħ やが ておなか が 空 てくる 義 雄

懐 生きてきた心の \mathcal{O} 深 7 夕 日に 打ち明け ひだが顔造る

哲 良 子

| 軸3世代暮らしストレスてんこもり | 愛臆病の手に持つ嘘をじっと見る |
|------------------|------------------------|
| アキニ | 百合っ |

うきうき 互選)

②温泉へ二泊三日の荷ごしらえ

うきうきと泳ぐ金魚も競り間近

うきうきとリア ル揺さぶる花吹雪 勝

春うらら隣りの猫も甘え声

半世紀妻に内緒の同窓会

言いたいが場所は明せぬ小旅行

スキップで帰るあすから夏休み

③佳句を得てほくそ笑んでる昼下がり

春来ればみんな陽気と限らない 孫が来る好物そろえ蒲団干す

④アジサイ の色づきを待つ雨を待つ

うきうきとし過ぎた果ての朝帰 ŋ

六時発ピンクの シャ ツに上機嫌

何事もはずむ心の一年生

アキラ

勝 利

英

利

哲 子

正 ばんゆう 清

よう子

乃り子 アキラ

乃り子

義 雄

正 清

美

登

⑥テンションをマックスにして飛鳥I 百合子

⑦母の日を見て父の 日 \mathcal{O} 皮算用 英

⑨誰彼にタッチをしたい退院 セ ター 編む娘は恋をしたらしい

日

よう子

良

⑩乗せられてウキウキ帰る美容院

義 雄

を持参する可能性大。 * 西3 岩さんが見学し、 期待しましょう。 投票に加わ 0 た。 次 回は作品

野 に輝く。メンバーとしては澤山よう子さん、 に次ぐ快挙。 々村アキラさんが4月、朝日新聞奈良版の月間奨励賞 自由吟の選をしてもらう。 奥村義雄さ

壱分 をするほ \mathcal{O} 勉強会から小金澤貫一さんが参加し、 か、 秀句に賞品を下さった。 * 自由吟 \mathcal{O} 選

に変更)から西集会所。 次回は六月二十日午後一時(日程を四月から第三月曜 お題は「言い訳」と「触れる」、

それに自由吟。各2句。「言い訳」は連記用で短冊に2

句とも書く。自由吟(選者2人による共選)は2部を提

Щ

問合せ 五十嵐 修 7 9 • 0 7 5 1